

経ヶ岬通信所だより

No. 12



地域の子供たちと文化交流（ハロウィン）

👉地域住民の方々の安全・安心の確保に取り組んでいます

○第33回安全・安心対策連絡会を開催

近畿中部防衛局は昨年11月30日（水）、第33回となる米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会を京丹後市役所において開催し、交通事故の状況等や発電機の土日・夜間稼働、日米交流等について、京都府や京丹後市、地域住民代表の方々に説明を行いました。

その中で、米軍関係者による交通事故の概要について説明し、出席者の方々との間で意見交換を行いました。

また、米軍経ヶ岬通信所のウィア司令官は、挨拶の中で「私たちは日本の交通法規の遵守を徹底する。12月には交通安全講習会に参加するほか、引き続き通信所の兵士及び請負会社職員に交通安全の重要性を指導する。」と述べました。

※本連絡会の配布資料については、当局ホームページに掲載しております。



第33回安全・安心対策連絡会の開催



米軍経ヶ岬通信所司令官からの挨拶



近畿中部防衛局長からの説明



京丹後市長からのご意見

○米軍人等に対する交通安全講習会を開催

近畿中部防衛局と京丹後警察署は、昨年12月8日（木）、京丹後市網野町の網野自動車教習所に御協力いただき、米軍経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者を対象とした交通安全講習会を開催しました。

今回の講習会では、万全な新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、これから本格的な降雪期を迎えることを踏まえ、冬季の運転において特に注意を要する事項に重点を置いた座学講義や、人工降雪機を使用して再現した積雪路での走行体験、車両感覚を養うためのトレーニングなどを内容とした実車講習を行いました。



冬季の注意点等に関する警察の講義



通常のタイヤとスタッドレスタイヤの比較



万全な新型コロナウイルス感染症対策のもとでの講習



積雪路面上の走行練習

 **通信所ニュース****○日米共同統合演習『キーン・ソード23』に参加**

第14ミサイル防衛中隊の兵士は、11月10日から19日にかけて日本周辺海空域・自衛隊施設・米軍基地等で実施された日米共同統合演習「キーン・ソード23」に参加しました。

経ヶ岬ではパートナーである陸上自衛隊第7普通科連隊と共に経ヶ岬通信所への脅威に相互で対応する能力を向上させることを目的とした訓練が実施されました。

訓練は、開会宣言に引き続き訓練を共にするパートナーとの相互理解を深める為に開催された交流会を皮切りに、第一線救護、小型無人航空機システム対処、CBRN対処、爆発物対処が含まれる機能別訓練、シナリオに基づいてより現実的な対応を行う総合訓練と続き、双方にとって言葉の壁を超えてコミュニケーションする能力と実働状況において共同で計画・実行を行う能力を改善することができました。

訓練期間中の11月10日には第94陸軍防空ミサイル防衛コマンド司令官ブライアン・ギブソン少将、11月12日には統合幕僚長山崎幸二陸将、陸上自衛隊中部方面総監堀井泰蔵陸将、陸上自衛隊第3師団長荒井正芳陸将、統合幕僚監部運用部副部長上野和士陸将補、航空自衛隊中部航空警戒管制団司令小野打泰子空将補をはじめとする幹部の皆様をお迎えし、概要説明・基地案内を実施しました。

キーン・ソード演習は1986年に始まった一連の演習で、米軍及び日本の自衛隊が幅広い事態に対応できるよう現実的な訓練環境を提供しているものです。

艦艇・航空機の機動訓練、揚陸訓練、災害支援・医療提供や避難手順の確認等の人道支援訓練等も実施され、より洗練度を重ねております。



統合幕僚長 山崎幸二 陸将による視察



第94陸軍防空ミサイル防衛コマンド司令官 ブライアン・ギブソン少将による視察



自衛隊幹部への概要説明



第一線救護訓練で連携する米陸軍兵士と陸自隊員



交流行事で親睦を深める米陸軍兵士と陸自隊員



訓練中に積極的にコミュニケーションを取り相互理解を深める様子



○ハロウィンイベントの開催

京丹後市国際交流協会、近畿中部防衛局と米陸軍経ヶ岬通信所第14ミサイル防衛中隊は10月29日、京丹後市網野町の八丁浜シーサイドパークにてハロウィンイベントを開催しました。約120名の子供たち、保護者の皆様、経ヶ岬通信所の関係者、京丹後市、航空自衛隊第35警戒隊、近畿中部防衛局や地域からのボランティアスタッフを含む200名以上がイベントに参加しました。テーマは「トランク・オア・トリート！」

自動車をハロウィン仕様に飾り付けて、そこで「トリック・オア・トリート」を行うものです。子供たちは思い思いの衣装に身を包みながら、「ゾンビ・ブラスター」「魚釣り」「チック・タック・トー」「英語紙芝居読み聞かせ」といったステーションを楽しみました。「短い時間ではありましたが子ども子供たち、地域の皆様、第14ミサイル防衛中隊の兵士や民間人が一緒になり、お互いに楽しむ様子を嬉しく拝見しました。」と話すのは第14ミサイル防衛中隊長ウヰア少佐です。

「私たちも地域の一員であり、一緒に活動していること、そして今後も地域の一員として活動していくということをお見せしました。」と語りました。

イベントを共催した京丹後市国際交流協会の麻田事務局長は次のように話しました。

「今回は久しぶりに大勢の子供さんを対象としたイベントとなり、参加人数もものすごく多くなりました。皆さん楽しそうにしているので、とてもうれしいです。子供さんたちのコスチュームも年々凝ったものになり、また保護者の方もいろんなコスチュームを着て参加してくれるようになりました。また、兵隊さんたちも素晴らしいコスチューム、恐がらせないようなコスチュームをして頂いているので、とても嬉しいです。」

今回のイベントには、第14ミサイル防衛中隊のパートナーである空自衛隊第35警戒隊からも9名がボランティアとして参加しました。航空自衛隊35警戒隊通信班長の久保田祥平二等空尉は「米陸軍の方々とはこれまでもいろいろなイベントに協力して参加しています。そこでいい関係を構築できているので、今後も米陸軍と経ヶ岬で自衛隊と協力して地域に貢献していけたらいいと思っています。」と話しました。「今日、多くの方々に来て頂いてとても楽しく幸せです。」と笑顔で語りました。子供たちは「トリック・オア・トリート！」と元気よく声を出しながらたくさんのキャンディーをもらったりゲームを楽しんだりしながら、異文化を満喫する一日となりました。



市国際交流員らによる英語紙芝居



米陸軍兵士とボランティアで参加した空自第 35 警戒隊員



子供たちの仮装コンテストの様子



仮装した米陸軍兵士からキャンディーを受け取る様子



スूपキー・トスを楽しむ様子



トランク・オア・トリートでキャンディーを受け取る子供たち

【経ヶ岬通信所の活動状況などはフェイスブックにも掲載していますのでご覧ください。 <https://www.facebook.com/14MDB/>】

○通信所の米軍人等が海岸清掃に参加

昨年11月6日（日）、京丹後市網野町袖志地区において海岸清掃が行われ、地元にお住まいの方々に加えて、米軍経ヶ岬通信所に勤務する米軍人等や航空自衛隊経ヶ岬分屯基地に勤務する隊員など、合わせて40名以上が参加しました。作業は朝7時に始まり、およそ1時間をかけて、袖志地区東側の岩場の清掃を行いました。海岸に流れ着いたごみの中にはプラスチックごみといった軽いものだけでなく、漁具類のロープの塊といった大きく重いものもありましたが、一致団結して片付けることができました。



○米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることになります。

当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の連絡先にご相談ください。



【連絡先】

近畿中部防衛局管理部業務課

電話 06-6945-4964 / 06-6945-5381（夜間及び休日）

■ ご意見・ご感想等 ■

本誌についての皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

(住所) 〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-67 近畿中部防衛局 広報編集委員会（報道官気付）
 (電話・FAX) TEL 06-6945-4953 FAX 06-6910-5669
 (メールアドレス) goiken@ext.kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
 TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU
 2023年 経ヶ岬通信所だより（通算第81号）
 令和5年2月発行
 近畿中部防衛局
 広報編集委員会
 TEL 06-6945-4953
 URL https://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/

リサイクル適性(A)
 この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。